



カクタス・コミュニケーションズ株式会社  
代表取締役 湯浅 誠

プロンプト作成の難しさ  
しかし、そのプロンプト作成が ChatGPTの一番の難しさでもあります。AIへの指示の出し方にはコツがあり、指示を間違えると的外れな回答が返ってくることもよくあります。研究者間で成功したプロ

コード作成  
中でも、私たちが一番研究者の方からよく聞く利用場面は「英語論文を日本語で要約して素早く読む」です。

・校正、研究のサマリー作成  
【分析する・まとめる】アイデア出し、アウトライン作成、分析の

コード作成  
【調べる・読む】情報の検索、既存概念の確認、論文を効率的な読解【書く】抄録の作成、原稿の翻訳

・校正、研究のサマリー作成  
【分析する・まとめる】アイデア出し、アウトライン作成、分析のコード作成

ChatGPTは万能選手？  
よくある活用の例  
ChatGPTはいわばAIの万能選手で、プロンプト(指示)次第で様々なタスクに対応できる点が魅力です。研究場面では、例えば以下のような種類のタスクが可能です。

研究者と生成AI 活用のコツ

新しいアイデア・概念を生み出す

研究の価値(面白さ、新しさ、凄さ)を選択、評価、実践、主張する

文章の骨子と、扱いたい情報を全て文章で提供し方向性を示す

生成・修正された文章を自分の言葉に置き換えて編集する

クリエイティブな思考作業

研究者

既知の知識や常識・アイデアを事前にまとめて網羅する

アイデア候補を網羅する思考の壁打ち相手をする

与えられた情報に基づいて文章を即座にアウトプットする

人間が書いたコンテンツのエラーを直して読みやすくする

知的な単純作業・煩雑作業

生成AI



ChatGPTと研究者  
ベストな活用バランスとその限界

います。

ChatGPTは万能選手？  
よくある活用の例  
ChatGPTはいわばAIの万能選手で、プロンプト(指示)次第で様々なタスクに対応できる点が魅力です。研究場面では、例えば以下のような種類のタスクが可能です。

ChatGPTの研究利用に  
限界がある理由  
それでも冒頭のように研究者の多くが、現時点でChatGPTの研究利用に限界を感じているのはなぜなのでしょう？ 機密データの取り扱いや回答の正確性といった技術的な問題以前に、それは研究というものの、クリエイティブ性の高さに起因していると私は考えています。研究は人類にとって未知の物

事、新規性の高いアイデアや概念を扱う活動である一方で、AIは既知の事実や既存のデータをもとに回答するものです。だから、またこの世に存在していない新しい知識を生み出す仕事に対して、価値のある回答を提供することには限界があるのです。

研究者と生成AIの  
ベストなバランス

現時点の生成AI技術を研究で活用するポイントは、単純な知的作業や煩雑なタスクに利用場面を限ることです。クリエイティブな思考や価値判断を研究者自身が行い、人間が思考した内容をもとに、AIに最適な回答をアウトプットさせ、その結果をまた人が評価・修正してまとめるのが、現時点での理想的な利用方法と言えます。

とはいえ、生成AIは日々刻々と進化しています。私たちが開発するAI論文執筆ツール「Paperpal(ペーパーパル)」にも、こうした研究支援の現場で得た知見を活用し、生成AI技術を安全かつ有益な方法で導入していく予定です。



A | 英文校正ツール「Paperpal(ペーパーパル)」